

J Aおちいまばり第7次中期計画最重点実施項目進捗管理表（平成28年度～30年度）

金融事業（平成30年度第4四半期）

ビジョン・目指すべき姿		地域に根ざしたJ Aの金融機関として、農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供を通じて豊かで暮らしやすい地域社会づくりに貢献します。								
重点方針	最重点実践方策	代表的な施策	3年間（平成28年度～平成30年度）の目標	平成30年度の目標値	実績値	達成度%	主な取組事項	今後の方針・課題	担当部署	
1	地域金融機関として農業及び地域社会への貢献	農業メインバンク機能の強化	営農経済部門と一体となり、農業者・農業法人への出向く活動を実践するとともに、資金ニーズに応じた最適な農業資金の提案を行い、農業メインバンク機能の強化に取り組みます。	管内の訪問対象先(認定農業者・メイン強化先)との面談を強化し、平成28年度は年100回、平成29年度は300回、平成30年度は450回を目標に取り組みます。	担い手への訪問回数450回	499件	100.0%	支店及び営農経済事業部門と一体となった農業担い手への出向く訪問活動を継続・実施中です。	「農業の夢ヒアリング訪問」を通じて農業者・農業法人の資金ニーズの把握に努めて、農業生産の拡大に繋がる最適な資金提案を行います。	資産相談課
2	農業協同組合における金融事業の役割発揮	永続性のある安定的収益基盤の確立	農業・地域振興への取り組みの財源を確保するために、平成30年度でのJ A貯金3,000億円、年金振込口座2万件を目標として地域から選ばれる金融機関をめざします。	総貯金残高について、平成28年度末2,856億円、平成29年度末2,930億円、平成30年度末3,000億円をめざします。	年度末の総貯金3,043億円	3,032億円	99.6%	通期で行っている「結いの恵み」と1月～3月末の農を意識した商品「彩り柑橘」定期貯金を取り組みました。	次世代層との取引増強・優良顧客の囲い込みのため付帯取引拡大に向けた取り組みと、貯金量増大・維持を継続とメインバンク機能の強化にも継続して取り組みます。	金融企画課 推進指導課
			年金振込口座について、平成28年度末19,750件、平成29年度末20,500件、平成30年度末20,750件をめざします。	年金受給者21,637件	年金受給者21,450名	99.1%	J A独自年金コンサートを実施し、J Aで年金を受け取ることによる優位性を積極的にPRしながら貯金量増大に向け新たな年金受給者の獲得に向け取り組みました。	引き続き「結いの恵み」を積極的に販売PRしながら貯金量増大と新たな年金受給者の獲得に向け取り組みます。また、全国統一商品「結いの恵み」が販売終了となるため J A独自商品「J Aおちいまばり結いの恵み」を次年度販売予定としております。	金融企画課 推進指導課	
			選ばれ続けるJ A共済となるため、3Q訪問を基軸としたきめ細やかな活動を展開することを最優先し、新しい仲間づくりに取り組みます。	共済ニューパートナーについて、年間1,300人獲得の3年間継続をめざします。	目標獲得数1,300人以上	1,051人	80.8%	こども倶楽部のイベント「アンパンマンキャラバン」へのお礼訪問を実施し、会員様への情報提供と情報収集に努め、ニューパートナー獲得に向け取り組みました。	活動の基本である3Q訪問活動の取組強化を行い、新たな仲間づくりに取り組みます。	金融企画課 推進指導課